

2008 年度（第 36 期） 関東学生陶芸連盟執行部選出 所信

ここではできる限り立候補者の所信を受け取った当初の形のままに載せています。

なお、「○役職名」は見出しとして資料作成の際に付け加えたものです。

○委員長

関東学生陶芸連盟委員長立候補 大城さやか

この度、2008 年度学陶委員長に立候補しました大城さやかです。

私は陶芸のサークルにはいり作陶していく中で、この学陶という存在を知っていききました。今まで私自身この学陶についてよく知っておらず、また活動にも参加したことがありませんでした。しかし学陶に就いている先輩方や活動に参加した人の話を聞き、他大との交流できる学陶は面白そうだと感じ参加してみたいと思いました。そしてもっと楽しく多くの人に知ってもらうには自分がもっと学陶を知り楽しんでみるのが一番だと思い委員長を立候補しました。

学陶は各大学とのつながり、外との交流をする貴重な場であると考えています。それぞれの大学が独自のスタンスで陶芸を楽しみ自由に作陶をしておりそのスタイルはサークルとして良いものだと思います。しかし、同じように陶芸を楽しむものどうしが集まり交流することで、この楽しみが 2 倍にも 3 倍にもなるものだと感じています。多くの観点から見ることで作陶意欲や技術の向上などが期待されます。他の大学の人と交流することで、普段とは異なるところから陶芸に携われるのは学陶ならではの気がします。またそれぞれの大学が集まって組織した学陶だからこそ様々な可能性を持っておりやりがいがあるのではないのでしょうか。

私自身これから活動することで新しい観点から活動を見ることができ、学陶の良い面、悪い面を改善し、今後の活性化をはかることができるのではないかと思います。最近の学陶は先輩方の働きによって以前より活発なものとなっており、これからも前進していきたいと考えています。信任をしていただければ、この学陶の活動がそれぞれの大学に還元され、参加した人が楽しいと思えるよう頑張っていきます。

なにもわからない私ですが、皆さんと協力していくことでこれからの学陶の発展のため取り組んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

○副委員長

所信表明

新副委員長 千葉工業大学 須関 温子

学陶展を終えてから、学生と陶芸という言葉が頭の中をグルグル回っている。学生ならではの陶芸との関わり方を見つめなおしてみれば、大変面白いことが出来るのではないかと？学陶展では、学生の陶芸作品ってどういう感じなんだろうと期待して入ってくるお客さんが多いはず。「なるほどね。他では見られない面白さがある。」なんて言われると、ただ「きれいな」「プロのようね」と言われるより、お客さんの心をつかんだ感じがする。

そこで、学陶を少し変えたい。1年間、元委員長の上嶋さんがやってこられたのをただ真似し、委員長の仕事をこなしてきただけであったが、次は応用させたいと思うようになり、最初は次期委員長に立候補した。

しかし、新しいメンバーの頑張りを信じ、私は1歩引いた。学陶委員である事には変わらないので、新委員長をサポートしつつ、魅力的な学陶をつくっていこうと思う。

2年連続の委員は精神的にきついのが正直な所だが、3年間も学陶に携われる人はめったにいないだろうと思い、後悔のない1年にしようと決めた。

○会計

2008年度学陶に向けて

学習院大学 吉田茉央

今年は学陶補として、学陶委員であった先輩の補佐をしてきました。この1年間学ぶことが多い年で、勉強になること・個人的に思うところが多々ありました。

最も強く感じたのが、今までの活動を機械的に続けていくのではなく、学陶委員以外の部員の人たちにもっと学陶の存在と活動内容を知ってもらえる努力もしていかなければならないという点でした。というのは、(他の大学ではどうか分かりませんが)自分の大学であった今年の改選の中では、学陶に加盟していることに疑問を持つ声がちらほら聞こえたからで…。各校のイベントで得た技術(彫り・釉薬の調合 etc.)を他の部員にももっと積極的に伝える必要があるのではという意見もありました。

学陶という集まりを通して、他大との交流をこれまで通り行っていくのはもちろん、各校の他の部員の方々にも興味・関心を持ってもらえるよう新しい学陶委員の皆さんと協力して有意義な活動にできるよう努力していきたいと考えています。これから1年間よろしくお願いします。

○ 渉外

所信表明

中央大学 青木央範

今回、関東学生陶芸連盟、学陶委員の渉外に立候補した青木央範です。以下にその所信を述べます。

私は、前年度は学陶補として学陶の活動に携わってきましたが、今回委員に立候補するにあたり学陶の活動の中心である「他大学との交流」に特に興味を持ち、渉外に立候補しました。普段はそれぞれ別の場所で活動し作品を作っている各大学が交流し、互いに切磋琢磨しその成果を発表出来る場はとても大切だと思います。その学陶の活動を維持し、発展させるのが学陶委員としての私の仕事で、学陶の連盟員同士の信頼関係をより深くするイベントの手配をするのが学陶の渉外としての仕事だと私は考えています。また、学陶の発展のために、学陶総会の間では積極的に発言し、色々な提案をする学陶委員でありたいと思います。そして渉外としては、合宿等を通じて普段では出来ないような濃密な時間を連盟員の皆さんに経験してもらえようように頑張りたいです。

最後になりましたが、今年度の学陶委員のみなさん、まだまだ何も知らないことだらけの私ですが一年間どうぞよろしくおねがいします。

○ 渉外

関東学生陶芸連盟 渉外立候補 林美里

昨年よりも、学陶の活動を自分の大学で生かすことが目標です。

例えば、毎月の活動を報告したり、学陶の行事への参加を呼び掛けるなどして、得た知識を広めていきたいです。

また、渉外係として、他大学のみなさんと和やかに交流できる合宿や飲み会を企画したいと思います。

○書記

関東学生陶芸連盟 書記立候補 舘徳一

この度書記をやらせていただく舘です。私は学陶にはあまり参加していなかったためどのような仕事をするのかあまり把握していません。そのため他のメンバーの方々の足を引っ張ってしまうかもしれません。ですかなるべく早く仕事を覚えて皆さまと楽しく活動していきたいです。よろしくお願いします。

Memo